

全学調 第30号

はぐくみ

発行者 全国学校調理師連合会

会長 谷本 厚美

岸和田市田治米町 456-4

TEL・FAX 072-493-9907

令和3年1月9日発行

新型コロナウイルス感染症による影響を受け、皆様におかれましても未曾有の災禍の中、大変なご苦労をされておられることと案じております。

会長挨拶

あけましておめでとう
ございます。

昨年2月からの新型コロナウイルス（以後コロナと表示）感染拡大の中、皆さまには、ひとかたならぬご厚情をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

今期の当会活動は、コロナの影響で総会は会場を借りての開催が出来ず、往復はがきにて採決を頂き可決致しました。夏期・冬期研修会も中止させて頂きました。全国的に人が

集まっただけの催し物が出来ない状況の中で、役員会にて協議の上、中止の判断致しました。

コロナの感染拡大により多方面で影響が続いています。当会の主な活動で、例年12月に開催され、協力させて頂いている地域イベント『熊取町農業祭』をはじめ、さまざまな地域で人が集まっただけの催しが中止に追い込まれました。毎年楽しみにされている皆様、運営準備に参加される方々・団体の皆様のことを思うと本当に残念でなりません。

当初コロナ感染拡大に伴い「ソーシャルディスタンス（他者との心理的距離をとる）」が強く叫ばれましたが、WHOが昨年5月に「フィジカルディスタンス（物理的・身体的に一定の距離を保つ）」に言い換えるよう推奨されました。教育現場でも「ソーシャルディスタンス」から「フィジカルディスタンス」に方針の切り替えを促す通達がありました。

それを踏まえて「大事な食の現場を預かる私」も認識を新たに心掛けています。

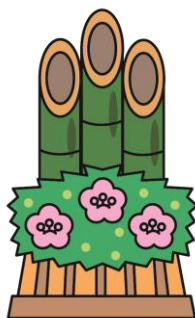
改めて言うまでもありませんが、予防の基本となる手洗い・うがい・マスクの着用の励行及び3密（密閉空間・密接会話・密集場所）を率先して実行することが大事です。

誰もが経験したことのない非常事態の中、感染拡大予防に務めている会員の皆様には、大変な時期ではありますが、くれぐれも体調不良のないようお祈り申し上げます。

このような大変な時期だからこそ、助け合っただけ頑張りていきましよう

今後は、様子をみながら行事の再開が出来る様、役員一同努めてまいりますので、今年も会員皆様の御意見・御協力のほど、宜しくお願い致します。

寒さ厳しき折柄、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



コロナ対応について（緊急事態宣言当時）

大阪 中村嘉訓

【職場について】

大阪市内でも地域の中核をなすような病院です。

【職場における対応】

発熱までコロナの疑いのある人の検査を行い、検査結果が出るまでは減圧室での個室対応でした。8フロアのうち1フロアをコロナ疑いの専用フロアとしていました。それとともに、緊急事態宣言による不要不急の要請時は不急の手術や、入院が少なくなり、入院患者数も3分の2くらいに減少となりました。

【給食現場の対応】

入院患者数が減少し食数が減少ということで、作業量は減ったのですが手間はかなり増えました。例えば、コロナ疑いのある人には感染症予防のため使い捨ての食器（スプーン）の惣菜売り場にあるような弁当箱）に盛り付ける、2基のエレベーターのうち1基はコロナ疑いフロア専用になり、配膳車の念入りな消毒作業などがあげられます。使い捨てマスクの納品も目途が立たず、マニュアルでは禁止されている翌日以降への使い回しも特例として余儀されなくなりました。マスクの他にもアルコールやニトリル手袋の品薄となり、マニュアル通りの使用ができない状態となり、衛生的にもかなり心配な状況となりました。

ただ調理現場での衛生対応は、普段からノロ

ウイルスへの対応がなされているので、特別なことは実施する必要はありませんでした。

【給食現場の人たちへの対応】

勤務地がいきなりコロナ感染の心配される状況になってしまいパートさんの中にはかなり心配する人もいました（ご自身やご家族に高齢者がおられる方、持病をもたれている人に多かったです）。給食現場での勤務では、危険な濃厚接触者となる状況はなかったのですが、そのような状態でも、出勤を拒むことなく従事していただいたのは有難いことだと感謝しています。

【私自身の気持ち】

私自身は医療に高い志をいたわけてはありませんが、今回のコロナ禍の自粛中でも医療従事者の一員として勤務し続けていたことは、世の中のお役に立っている充実感を強く感じました。



近況報告（緊急事態宣言当時）

滋賀 花田和美

コロナ禍の今年、どこも大変だったことと思います。私の勤務する幼稚園では、職員を2班に分けて在宅勤務と出勤するAとBに分けて、感染リスクを少なくしました。

給食は4月24日から5月末までストップし、発注を止め午前と午後のおやつのみ提供していました。もちろん手作りは無しです。普段からノロウイルスの対応をしていて消毒をこまめに行っていたので、現場はいつも通りに行いましたが、マスク、アルコール、手袋など衛生用品がなかなか手に入らなくなり、市内の園で連絡して融通してもらいました。

在宅勤務の間は食育、マスク作り、園の草取りなどをしていました。出勤した朝は検温、健康観察のチェック表を記入し続けています。子どもたちは換気された部屋でソーシャルディスタンスを守りながら、3密を避けアクリル板を使った中、一定方向を向いて弁当食べていました。

少し落ち着いてきたら、また6月の発注のための出勤をして園で仕事をしていました。でも仕事に追われるようになるとAもBも言うてはいられず、6月から普段通りになりました。

これから冬に向けてインフルエンザやコロナウイルスがますます心配になり、どこで誰がかかるかわかりません。私達自身気をつけていても危険であることには変わりはありません。SNSなどで心無い誹謗中傷が人権問題にまで発展しています。

なかなか収束が見えない中、落ち着いてリスクを避けながら、子どもたちに安心安全な給食を提供できるように、免疫力を上げながら日常生活を送っていききたいです。

近況報告（緊急事態宣言当時）

広島 金森 雅子

【職場について】

広島市中心部のやや北にある、児童数³²⁰人の小学校です。

【職場の状況】

学校では、様々なコロナ対応マニュアルが作成され、手洗いの徹底や、消毒、ソーシャルディスタンスを保つ事等を厳しく求められ、給食時間が「楽しい時間」から、「感染の危険が高い、怖い時間」に変化したように感じます。

教師も生徒も、給食を味わうというより、無事に終了する事を目的にしているような状態です。反面、長い休校を経験し、給食の美味しさや有難さも同時に感じているようにも感じます。無言で食事をするため、給食そのものに注目している様子も見て取れます。

作業の変化としては、食器の返却や、残菜処理について、今まで子ども達が行っていた片付けを調理員が行うことになり、午後からの作業が煩雑になりました。人員配置を変更する等して対応しています。

【長い休校を経験して】

休校中、調理場内や校内の清掃、児童用使い捨てマスク作り、給食献立集作りなども行いましたが、多くの時間をミーティングや研修に使いました。

給食の社会的意義、給食調理員の役割、衛生面の工夫、異物混入防止対策、ドライ運用の提案、作業の効率化の提案、人間関係を健全に保つ工夫、食育の提案について、レポートを提出し、それぞれのテーマにそって、話し合いを行いました。また、調理場内で実際に調理器具を用いた労働災害防止研修は大変好評でした。

最近では、臨時職員さんの入れ替えが激しく、常に誰かに作業説明しながら自分の作業をするといった状況なので、伝えたい事のほとんどが伝えられていないと感じていました。思いがけず、その不安を解消する時間を持てた事は良かったです。

【今後の目標について】

多くの事を我慢している子ども達に、美味しい給食を届けて、すこしでも楽しみを得られるように、職場のスタッフ全員で頑張りたいと思います。

岸和田の状況（緊急事態宣言当時）

大阪 谷本厚美・花田幸子

7月21日から8月7日まで夏休み短縮になりました。

この間の献立内容(量)は、通常通り。手作りルウ、冷凍鶏ガラ使用のスープ、揚げ物、アレルギー4品目(乳・小麦・卵・えび)の使用は無くしました。

コロナ対策の予算として、各学校配当分のお金より、ファン付き白衣を各自2枚購入。今後、マウスシールドの購入を要求する予定。(学校により未定)

岸和田24校全てにスツポトクーラーが付きました。(天井に空気口本体を取り付け、3〜4本のダクトを分岐して、先はジャバラにて風向きを変えられる。室外機は、外付けなので調理室の湿度は下がる。設定温度は14℃)

学校によって対応は違うが、谷本の学校(職場)は、今まで通りの人数・教室で食べ、予備の食器も追加していません。

花田の学校(職場)では6年生40人のクラスのみ給食時間だけ2つに分かれて食べ、各クラス、担任と職員が1名入り配食は職員が行なっています。給食前と後は、アルコールでテーブル等を消毒して、拭いたタオルは毎回職員室に回収して消毒しています。

おかわりは出来ないで配食時に、大盛り・小盛りの物を取り、おかわりが出来ない分、残量



が増えました。くしゃみや咳をした時の為、全ての食器等を3セット多く各クラス入れていきます。

冬期研修会中止について

冒頭の会長挨拶にもありますが、コロナ感染拡大防止の為、冬期研修会を中止致します。ご理解宜しくお願いいたします。

2020年度 調理技術審査技能検定合格者

・磯辺 優さん
・朝原 恭章さん
・森上 美穂さん
以上、3名です。合格おめでとうございます。



2020年度 みかん狩り

●日時 2020年11月15日(日)

10時～13時

●会場 大阪府貝塚市南川農園

●参加者 一般 59名

会員 5名(山中・浜岡・谷本・

中村・伐栗)

●主催 『遊味』全国学校調理師連合会

名誉会長 山中弓子

●詳細 食事 ホタテご飯弁当(遊味にて調理)・豚汁(現地にて調理)

当日、一般参加者は現地集合で、みかん狩りを楽しんで頂きました。会員の調理したホタテご飯と豚汁を振舞い、楽しいひと時を送られていました。山中弓子名誉会長の店『遊味』主催で、恒例となりましたこの催しを、毎年楽しみにして下さっている方も多く、当会が協力させて頂くイベントとして定着してきました。ご参加頂いた皆様に感謝いたします。また、主催者の山中弓子名誉会長をはじめ、協力頂いた会員の皆様お疲れ様でした。



編集後記

昨年は、新型コロナウイルスによって世の中の生活が一変してしまいました。皆様、お身体の具合などいかがですか？この状況で総会や、研修などで集まることが難しくなり、会報の内容もそれらの事を載せることが出来なくなりました。なので、皆様も知りたいであろう各地方の会員の皆様に近況報告して頂きました。これからも、きっと以前のように出来ない事もたくさん出てくると思いますが、その中で今出来ること考えて行けたらいいなと思います。皆様の近況や、良かったことや、大変なことを今後も、はぐくみに載せて行きたいです。この状況が少しでも良くなって、また皆さんでお会いできる日を楽しみにしています。

広報 羽賀田里美